



**白寿祝状授与** 11/7

土屋キンさん（静内入船町）が白寿を迎え、富田副町長から祝い状、町社会福祉協議会・川越会長から記念品が贈られました。  
土屋さんは北広島市出身で、22歳の時に静内で漁業を営む孝二郎さんと結婚し、1男4女に恵まれました。現在は、自宅で次女の和子さんと暮らし、毎日欠かさず日記をつけ、趣味の詩吟を楽しみながら元気に過ごしています。この日は、お祝いに駆けつけた家族とともに99歳の誕生日を喜びました。



**第15回健康まつり** 10/27

『第15回新ひだか町総合ケアセンター健康まつり』が同センターで開かれ、多くの町民が来場しました。会場では、血管年齢や体脂肪、血糖値測定などの健康チェックのほか、札幌複十字総合健診センター所長の山下幸紀医師が「がんをよく知ろう」をテーマに講演し、「がんの種類によって検診の効果は違うが、子宮頸がんは検診で100%予防できる。がんの予防には、喫煙や食事など生活習慣を改善することも大切」と話し、来場者は熱心に耳を傾けていました。



**第7回新ひだか町民芸術祭** 10/19~11/13

町公民館での作品展示を皮切りに『第7回新ひだか町民芸術祭』が静内・三石両地区で華やかに開かれました。  
作品展示では、絵画や書道、写真、陶芸など子どもから大人まで、多数の力作が並び、来場者の目を楽しませました。また、芸能発表では、迫力のあるダンスや音楽、華麗な舞踏などに、会場から大きな拍手が送られ、来場者は芸術・文化の秋を堪能していました。

# ニュースフラッシュ

---

まちのできごと、話題をお届けします。



**郷土館講座「チャシを解明する」** 11/10

郷土館講座『チャシを解明するー北海道・サハリン・千島の調査からー』がピュアプラザで開かれ、約40人が参加しました。  
北海道開拓記念館・右代啓視主任学芸員が講師を務め、「チャシ（とりで）は、私たちのルーツを探るために重要で大切な手がかりになるもの。皆さんといっしょにチャシとは何かを考えたい」と話し、参加者は、アイヌ文化が遺した大切な歴史・文化遺産であるチャシについて理解を深めました。



**第12回 JBCクラシック制覇** 11/5

地方競馬の『第12回 JBCクラシック』（統一G I・ダート2100メートル）が川崎競馬場で行われ、フクダファーム（三石清瀬）生産馬のワンダーアキュート号がG I 初優勝を果たしました。  
ワンダーアキュート号は、最後の直線で抜け出し2着馬に5馬身差をつける圧勝で、悲願のG I 初制覇。  
翌日、川上生活館で祝勝会が開かれ、関係者が集まり、喜びと祝福の声であふれていました。



**フッ化物洗口開始** 10/22

町は、むし歯予防の一環として『フッ化物洗口』を本桐保育所で開始しました。  
フッ化物洗口は、フッ化ナトリウムを水に溶かしたうがい液を口に含み、うがいをすることで、口内の細菌の作用を抑える働きがあるとされ、平成22年から道が推進しています。  
この日、4歳～6歳の園児8人は、昼食後に歯を磨いてから、約1分間ほおを膨らませながら、ぶくぶくと上手にうがいをしていました。



**町防災訓練** 10/18

町防災会議による防災訓練が静内海岸町、静内入船町、三石越海町、三石港町、三石梺舞の5地区を対象に行われ、約270人が参加しました。  
昨年度から東日本大震災を踏まえ、津波を想定した避難訓練を実施。参加した地域住民は、自宅から避難場所までの避難経路の確認や避難時間の把握をしました。三石越海町の木村小いせさんは「50年も住んで初めて避難場所に登った。安全な場所なので、津波が起きた時は避難したい」と話しました。



**三石図書館フェスティバルmini** 11/9

『三石図書館フェスティバルmini』が三石図書館で開かれ、18人が参加し、バスボム（発泡入浴剤）作りや読み聞かせが行われ、楽しい時間を過ごしました。



**フットパス体験会** 10/28

地域に昔からあるありのままの風景を楽しみながら歩く『フットパス体験会』が、JR日高三石駅を発着に開かれ、町内外から32人が参加し、秋の散策を楽しみました。



**古本市** 10/27・28

読書週間にちなみ『古本市』が女性センター・みらいで開かれました。町民が寄贈した約5千冊の本や雑誌が並び、秋の読書を楽しもうと多くの町民でにぎわいました。



**Aiba祭** 10/25

今年度最後のホッカイドウ競馬応援イベント『Aiba祭』がさくらセモニーホールで開かれました。会場には多くの競馬ファンが訪れ、レース結果に一喜一憂していました。